

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立男女平等参画センター						
指定管理者	株式会社明日葉						
指定期間	令和 元 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	総務課人権・男女平等参画担当						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	13	0	20	2	18		0	33
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考		
正規・非正規職員の退職者数	7	2	11	6				

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
施設利用者数(人)	75,274	28,320	41,451	58,160		
貸室稼働率(%)	59.0	42.6	57.8	63.0		

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
経費実績	収入	117,174,706	115,186,498	117,428,902	115,756,611	0	
	指定管理料(清算後)	117,174,706	115,186,498	117,428,902	115,756,611		
	利用料金収入	0	0	0	0		
	その他収入	0	0	0	0		
	支出	109,093,090	109,149,118	114,139,047	112,424,616	0	
	職員人件費	75,535,104	77,280,050	80,914,742	80,276,610		
	光熱水費	0	0	0	0		
	修繕費	1,061,300	708,719	1,086,800	1,203,609		
	事業運営費	15,688,798	10,811,038	12,761,251	11,789,174		
	施設管理経費	6,256,579	7,659,305	8,217,724	7,654,907		
	その他経費	10,551,309	12,690,006	11,158,530	11,500,316		
	差引収支額	8,081,616	6,037,380	3,289,855	3,331,995	0	
年度協定書で定める指定管理料	119,865,293	120,577,600	120,617,000	120,303,000			

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	×1	3 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	1 / 5	×5	5 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	1 / 5	×2	2 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	3 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	1 / 5	×2	2 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					60 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 - 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 - 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
- ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「-：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	設備機器の保守管理、清掃及び衛生管理に関しては、全体スケジュールに基づいて、付帯設備の保守点検を適正に行っています。保守点検の実施結果や経年による劣化や交換が必要になるもの等も区と情報を共有・連携しながら適切に対処しております。修繕に関しては、和室コンセントの移設工事が予算の関係上実施に時間が掛かっておりましたが、ようやく工事を完了することができました。今後はより俊敏な対応ができるように努力をしております。人材の確保（安定）と人材育成について人材の定着が進むような魅力的な職場環境を構築するために、従業員の希望を重視した研修の実施とワーク・ライフ・バランスの充実を推進し、連休や有休を取得しやすい職場環境を整えております。8月に行われた包括外部監査の回答では、若い世代、お子さん連れの方、男性利用者を増加させていくことが必要であると指導いただきました。そのためにもよりSNSやHPの情報発信の強化に努めるとともに、図書資料室や保育室の充実を図り、地域の方々により安全で充実したサービスを提供してまいります。
区（施設所管課）による評価	施設の維持管理において、①設備機器の保守管理は、②清掃及び衛生管理に関しては、適切に行われていたが、③修繕対応については利用者から指摘を受けてから対応するなど、迅速な修繕対応には至らない状況であることから、今後はより一層、不具合箇所の日常的な点検・把握により迅速かつ的確に対応するよう、指定管理事業者へ指導・助言してまいります。 また、事業運営では、④サービスの向上には取り組んでいるものの、利用団体からの意見や要望、区からの指導、助言に基づく対応が多く、事業者の発意による積極的な改善提案は少ない状況であるため、区と指定管理事業者との定例ミーティングの機会等において、運営課題を捉えながら、積極的な改善提案を求めてまいります。 ⑤職員配置、⑦労働環境については、指定管理期間における度重なる職員の退職や異動による転出により、安定した職員配置は実現できておりません。こうした事態に、利用者からは職場環境等への不安の声も挙がっており、利用者の信頼確保に向けた職員の定着化が急務となっています。令和4年度は、指定管理事業者本社の積極的な関与のもと、施設長を補佐する副センター長に加え、講座企画・施設管理・相談事業の各セクションにリーダーを配置し、組織における情報共有、連携を強化することで、風通しの良い職場づくりに取り組んでいますが、改善途上にあります。引き続き、施設長を中心としながら、施設長を補佐する体制の維持、強化、更には職員一人ひとりの充実した労働環境の確保について、指定管理事業者に積極的な対応を促してまいります。 ⑥人材育成については、指定管理者本社がコーディネーターや相談員のスキルを上げるために研修や面談を実施していますが、利用団体等からは施設受付における接遇面での改善を求める声があるなど、課題や改善点を的確に踏まえた知識・スキルの習得が必要です。また、不安定な職員配置の中、人材の育成や組織としてノウハウの蓄積が進まないことが課題です。今後も、受付対応を踏まえた職員への接遇研修の実施など、指定管理事業者に具体的な改善対応を求めてまいります。 ⑧安全管理・危機管理、⑨個人情報保護・情報セキュリティ、⑩区施策への協力については、適切に対応できています。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）